

第18回 東日本合唱祭



「合唱のまち一関」の秋を彩る、18回目を迎えた合唱祭。今年も、東日本各地から選りすぐられたトップレベルの合唱団が、バラエティーも豊かに、美しい歌声を響かせます。地元からは、本年度全日本合唱コンクールで激戦の県大会を勝ち抜き、東北大会出場を果たした一関第二高等学校音楽部が、みずみずしい女声合唱を奏でます。そして、フィナーレは招待合唱団に地元合唱団を加えた大同合唱。総勢約300人による「北上夜曲」「大地讃頌」などがクライマックスを飾ります。



一関二高音楽部

10/13(土) 13:30開演
一関文化センター大ホール

入場料(全席自由) 一般1000円 学生500円
◎問い合わせ先 一関文化センター ☎21-2121

- 【出演団体】
- 合唱団「四季」(東京)
 - 早稲田大学コール・フレューゲル(東京)
 - 浜松ラヴィアンクール(静岡)
 - 合唱団からたち(福島)
 - 一関第二高等学校 地元合唱団



世界遺産を目指して

イコモス現地調査終了

平成20年の世界遺産登録を目指す「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観」に対する国際記念物遺跡会議(イコモス)の現地調査は8月27日から3日間、行われました。スリランカイコモス国内委員会委員のジャガス・ウィーラシンハ氏(52)を調査員に迎え、当市をはじめ平泉町、奥州市にまたがるコアゾー(核心地域)の9つの構成資産を巡りました。当市の骨寺村荘園



多様な意見が交わされたパネルディスカッション

イコモス2007 inいわて

農業の継続が景観を守る

園遺跡には28日午前10時に訪れ、博物館での説明の後、慈恵塚や水田などを調査しました。30日には文化庁などによる合同記者会見が市役所で行われ、同庁の内藤敏也記念物課長は「一定の理解を得たと感じる。遺産の価値を一般の方にわかりやすく伝えることの大切さを(ウィーラシンハ氏から)話された」と述べました。イコモスは20年5月ごろに現



現地調査に先立ち、地元住民を中心に若手大生、市職員などのボランティアが草刈りを実施

地元の住民をはじめ日本ビオトープ協会、関係団体などから約400人が参加し、「一関骨寺荘園に見る自然との共生」をテーマに、講演やパネルディスカッションで活発な意見が交わされました。本寺中生徒の鶏舞に続き、遠増拓也知事が「世界に誇れる岩手の環境を目指して」と題し特別講演。吉田敏弘国学院大学教授らの基調講演の後には平塚明岩手県立大学教授をコーディネー

ターに、5人によるパネルディスカッションが行われました。地元本寺の佐藤勲本寺地区地域づくり推進協議会事務局長は「水田農業の継続こそ歴史的な景観を守る手立て。課題は多いが誇りを持って暮らせる地域にしたい」と述べ、長谷川明子環境省環境力ウンセラーは「本寺での水田や景観を守る取り組みが成功すれば、ほかの地域でもうまくいく」と期待を寄せました。

骨寺村荘園 遺跡調査 その2

中尊寺文書と中尊寺経

中尊寺文書は、中尊寺に伝来する古文書で、中世東北における代表的な寺院文書です。国の重要文化財に指定され、その半数近くが骨寺関係文書です。なかでも有名なのは、天治3(1126)年に書かれた「中尊寺経蔵別当職補任状案」です。藤原清衡が、紺紙金銀字交書一切経を8年かけて完成させた自在房蓮光の功をねぎらい、中尊寺経蔵の初代別当職と骨寺村の管理を任せるといった内容の文書です。補任状案とは任命書の写しという意味です。



【国宝】紺紙金銀字交書一切経 維摩詰経巻下(見返絵及び巻首) 中尊寺大長寿院蔵

そのほかに、経蔵別当職の相伝を記した譲状や、当時の在家(※)の様子を詳しく伝えた「骨寺村所出物日記」「骨寺村在家日記」などの文書があり、中尊寺と骨寺村の深いつながりを今に伝えていきます。また中尊寺には中尊寺経と呼ばれる経巻が2739巻伝わっています。すべて国宝に指定され、うち15巻が、清衡の発願で自在房蓮光が完成させた「紺紙金銀字交書一切経」です(前述)。紺色に染められた紙に銀で線を引き、金字と銀字で一行ごとに交書された装飾経です。もと

とは5300巻ほど存在したのですが、近世初頭の豊臣秀吉の時代に、そのほとんどが高野山などに持ち出されてしまいました。そのほかの中尊寺経2724巻は、紺紙に金字のみの経巻で、二代基衡三代秀衡の時代のものでされています。これら中尊寺経は写経史上の白眉とされ、当時の藤原氏の経済力と平泉文化の水準の高さを物語っています。※在家は年貢負担の対象となる屋敷と付属耕地。またはその負担者

◎問い合わせ先
本庁骨寺荘園室

気づきから始まる
男女共同参画
参画 No. 3

「いちのせき男女共同参画プラン」六つの基本目標(その2)

前回は引き続き、プランの基本目標のうち④から⑥までを紹介いたします。

◎問い合わせ先
本庁企画調整課
男女共同参画推進係

基本目標④ 雇用の場における男女共同参画の推進

多様で働きやすい職場環境を！
個人の能力を認め合い、意欲を持って働くことのできる平等な職場環境づくりに努めます。
▽就業相談や職業訓練、講習会などの情報提供を行い、就業機会の拡大を図ります。
▽働きやすい労働条件の整備を進めるよう、企業などへの啓発を行います。

基本目標⑥ 家庭・地域生活の場における男女共同参画の推進

支え合って暮らしましょう！
家事、育児、介護などを家族みんなで協力し合う意識啓発と、地域で支え合い、より暮らしやすい地域社会を目指します。
▽放課後児童対策や家族介護支援など、多様なニーズに対応した施策を展開します。

基本目標⑤ 農業・商工業などにおける男女共同参画の推進

活力ある農業、商工業を応援！
自営業でのパートナーシップ(※)の構築を促進します。
▽家族経営協定の締結や女性の認定農業者の認定申請を促進し、農業経営への女性の参画を支援します。

▽各種イベント(講演会など)の際は、託児サービスを実施し、地域活動に参加しやすい環境づくりに努めます。